



1 鳥取市岩美町浦富に位置する《エネトピア岩美》。鳥取ガス産業・初の営業拠点として1959年に開設された 2 毎年秋、鳥取・島根の5会場で開催される《エネトピア展》。最新のガス機器や大特価商品が揃う 3 グループを牽引する児嶋太一代表取締役。電力会社設立は、創業者児嶋幸吉（1857～1929）の悲願で、児嶋家5代が達成した

時代を読み新事業に挑戦
地域社会の発展に貢献する

全国でもまれな市民運動により誕生した《鳥取ガス株式会社》と《鳥取ガス産業株式会社》は、創業100周年の2018年を機に、提供するブランドとサービスを「enetopia」に刷新。次の100年に向けて走り出している。エネトピアとは、エネルギーとユートピア（理想郷）を組み合わせた言葉で、地域の人とエネルギーを元気に、そして地域とともにユートピアを実現するという経営理念が込められている。エネトピアグループは、ガス、電力、情報通信、住宅リフォームなど、幅広い事業を展開し、快適な暮らしをサポートする付加価値の高いサービスを提供している。グループ代表の児嶋太一社長は、東日本大震災直後の11年、鳥取ガスと鳥取ガス産業の代表取締役就任。震災をきっかけに集中型エネルギーシステムの脆さが顕在化する中、いち早く再生可能エネルギーを活用した「分散型エネルギーシステム」の構築を目指した。16年の電力小売全面自由化に先駆け、15年には鳥取市とともに新電力会社の《とっとり市民電力》を設立。市内にメガソーラー太陽光発電所を、また、下水汚泥処理

で生まれる消化ガスを活用する《秋里下水処理場バイオマス発電所》の運転を開始し、16年から再生可能エネルギー由来の電力供給をスタートさせた。地域で創生した再生エネルギーは、とっとり市民電力を通じて、鳥取市内の公共施設や、《エネトピアでんき》として、一般家庭や事業所に届けられる。今では地域から調達される再生エネルギーが9割に達し、地産地消が進んでいる。同じく16年には、高速インターネット通信《エネトピアひかり》事業をスタート。当初はガスサービスとの併用でプロバイダ料込みの月額利用料がお得になるサービスが主体だったが、その後集合住宅を対象に、ネット回線を活用した遠隔見守りシステムをオプションで提供し、コロナ禍以降、需要が高まっている。「お客様から私たちを選んでいただくためには、他社とは違う付加価値の高いサービスの『引き出し』を多く持つていなければなりません。そのためにも時代を読んで、新しい事業にチャレンジしていきます」と、高田永取締役・リビング本部本部長は語る。20年には山陰地域のLPガスシェア拡大とエネトピアブランドの浸透を目指し、初めて島根県へ進出。松江市に《エネトピア松江》を開設している。

2050年の脱炭素化社会の実現をめざし、環境負荷の低減、再生可能エネルギーを活用した取り組みも着々と進んでいる。24年には、都市ガス（液化天然ガス、LPガス（液化石油ガス）において、ガスの採掘から燃焼までの工程で発生する温室効果ガスを、森林の再生支援などによる二酸化炭素の削減分で相殺した《カーボンニュートラルガス》の取り扱いを新たに始めた。まず自事業所や工場に導入し、お客様のニーズに合わせて販売していく。また、再生可能エネルギーを活用し新エネルギー創出にチャレンジ。24年7月から、《カナデビア株式会社（旧日立造船）》と日本下水道事業団が行う革新的技術実証事業に、鳥取市とともに参画。《秋里下水処理場》の汚泥処理工程で生まれる消化ガス（メタン）を活用し、都市ガスの次世代燃料として期待される《eメタン》の製造実証を開始した。地産地消でクリーンなエネルギーを創り出すこの取り組みには大きな関心が寄せられており、25年7月には、北海道から九州までの全国20社を超えるエネルギー関連事業者がエネトピアを訪れ、視察研修が行われている。

時代が求めるエネルギーの
技術革新にチャレンジ

地域の人や社会のニーズを捉え 進化続ける総合エネルギー企業

1世紀にわたるガス事業を核に、2016年の電力小売全面自由化に伴い電力事業に進出。ガス、電気・通信や付加価値サービスで、地域を元気にエナジャイズ（Energize）する総合エネルギー企業へ。



29
LEADING COMPANY

エネトピアグループ
鳥取ガス 株式会社
鳥取ガス産業 株式会社

創 業 大正7 (1918) 年7月9日
代表者 代表取締役社長 児嶋 太一
社員数 124名 (男97名 女27名)
本 社 鳥取県鳥取市五反田町6

事業内容

都市ガス事業、LPガス事業、電力事業、
通信事業、リフォーム事業、
エネルギーコンサルティング事業

勤務地(採用エリア)

鳥取市、岩美郡、倉吉市、米子市、松江市

採用区分

新卒採用

キャリア採用

インターンシップ・キャリア

無

採用担当者からあなたへ

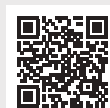
エネトピアグループの強みは、総合エネルギー企業としてお客様の生活を多方面から支えることができることです。鳥取・島根の皆様の暮らしを豊かにするために一緒に働きませんか。誰かのために役に立ちたい! そんなあなたの一歩踏み出す勇気を、全社員がサポートします!

総務グループ
総務人事チーム主任
牧田 朋久さん

採用に関するお問い合わせ先

0857-28-8813

公式サイトは
こちら



求人サイトは
こちら



Instagramは
こちら



1 野球、バドミントン、モルックと部活動が盛ん。野球部は、中国・四国地方の同事業者が交流する《ガス親善野球大会》に毎年出場 2 本社3階の社員食堂は、麺類・定食メニューが豊富でアイスも販売 3 個室・エアコン完備で快適空間の宿直室 4 2023年から農村集落の活性化を図る《とっとり共生の里》に参画。国府町楠城地区と連携し、農地や農業水路の保全活動、農産加工品の振興に取り組んでいる 5 高田永取締役・リビング本部本部長

「人を想う。未来を創る」

の移住者受け入れに力を入れており、新規のお客様との出会いも増えました。これからも、地元で頼りにされる小林さんの活躍は続く。

社会インフラを支え
地域貢献する人材に育成

鳥取ガスと鳥取ガス産業のエネトピアグループ2社は、取り扱うエネルギーが都市ガス、LPガスと異なるため別法人だが、社員の待遇、福利厚生(各種手当支給含む)、人事・教育制度などはすべて同じだ。3か月間の新人研修を経てそれぞれの会社に配属されると、人材育成を目的とした「ジョブローテーション制」により、2〜3年をスパンに、さまざまな部署で業務を経験。中間層社員にポイントをおく人事評価制度で、2社どちらでも活躍できる人

材を育てる。それぞれのガス取り扱い業務に必要な資格をはじめ、電気、建築、水道工事など各種資格の取得費用を、会社が全額負担。合格祝い金、選任手当も支給される。また、お客様の安心と安全を第一に、24時間365日の保安体制で臨むため、正社員による宿直任務がある。「若い社員に求めるのは創造性です。変化を恐れず、新しい事業や技術に積極的に挑戦してほしいですね。例えば営業では、現実感のある目標はありますが、ノルマはありません。目標達成の壁に当たった時は、視点を変えて取り組み方を工夫するということに、数字ではなく、その人の行動と努力を評価。長期的目線で、社員の成長を促します」と高田リビング本部本部長は語る。



1 2 3 4 エネトピア岩美でマルチに活動する小林さん。担当する岩井温泉の老舗旅館《岩井屋》の女将にも信頼され、長い付き合いが続いている。元高校球児で、入社後は野球部で投手を務め、今も捕手で活躍中だ 5 6 7 8 原料の受け入れ管理と、都市ガス製造工程の大元を担う前川さん。毎日の設備点検や工場巡視も重要な任務だ。「業務中は緊張がゆるむことは無いけれど、製造チームも社内もやさしい人ばかり。仕事する意欲が高まります」 9 10 11 「お客様が安全にガスをお使いいただくために」と真摯に保安業務に取り組む米原さん。公務員志望だったが、エネトピアで働く幼なじみのすすめで新卒採用試験に挑戦。「入社してみて、良い会社と出会えた実感しています」

人の暮らしと産業の発展を支える

地域に元気の種をまく
エネトピアの仕事

鳥取ガス・小売供給保安グループ製造チームの前川航輝さんは、入社2年目。タンクローリーで本社工場に運びこまれる都市ガスの原料、LNG(液化天然ガス)を受け入れ、タンクに貯蔵保管する工程を担当している。LNGは、天然ガスをマイナス162℃に冷却し液体化した状態なので、タンク外部からのわずかな熱の侵入で、一部が気化してガスが発生してしまう。「タンク内の圧力が一定に保てるよう、常に計器盤を見ながら調整しています。まだ上司や先輩を頼り、相談したりしてしまふ場面が多いのですが、自分でしっかり考え、行動できるようになりたい」と話す。今はガス主任技術者(乙種)の資格試験に向け奮闘中だ。前川さんと同期入社した米原唯人さんは、鳥取ガス産業・小売供給保安グループのLPガス保安サービスチームに所属。お客様を一軒一軒訪問し、ガスボンベや配管調整器、自動通報通信システムを備えたメーターなどの供給設備を点検、確認、保守する業務を担当している。「供給設備は経年劣化や天候・環境変化による影響があるため、安全に使用していただくためには節目ごとの保

安点検は欠かせません。最初は、知識を学んでも経験が浅いので、自分の中で保安業務の仕事が紐づかず、先輩に同行しても付いていくだけが精一杯でした」と振り返る。しかし、実地研修で実務経験を重ねながら成長し、2年目からは徐々に一人立ちして担当エリアを任されている。業務に必要な保安業務員、第2種販売主任者の資格も取り、さらなるステップアップを目指している。

鳥取ガス産業・リビング本部エリア営業グループの小林孝至さんは、入社25年目。本社の営業を経て《エネトピア岩美》へ異動して14年になる。現在は主任を務め、ガス機器やエネトピア電気・通信の提案から、ガスメーターの定期点検やボンベの配送、ガス設備の施工管理など、幅広く活動中だ。「何でも扱っています」と笑顔で答える小林さんは、ガスの配管・設備の設計図面をコンピュータで作成するCADを自ら学び、お客様への提案や、拠点の業務の効率化に役立てている。マルチな活躍の陰には、新しい技術に積極的にチャレンジし、自分の可能性を広げるという努力の積み重ねがあった。「安全なガス供給に伴うさまざまな業務を通して、地域のお客様とずっとつながっていただけるのが、この仕事の魅力です。町が子育て世代